



4月1日～15日の活動報告

●2020年度第2回 国際交流推進委員会 (北陸AJEC企画部会と合同開催)

日時：3月31日(水) 14:00～15:30

場所：金沢ニューグランドホテル

出席者：会場15名、オンライン17名

江守委員長は開会挨拶の中で、「北陸経済はどん底から脱しつつあるように感じる。2021年度は、北陸を新たな明るい方向へ持っていけるようがんばりましょう」と述べた。

委員会では、「2020年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、「2021年度事業計画(案)」について審議し、了承された。各委員からは、「韓国との交流会議ができない今は、韓国の現状を勉強し備えておく時期である」「ASEAN諸国との交流事業は成果を念頭に置いた事業展開が必要。会員企業と連携し交流事例を創り出すべき時期」などの活発な意見交換が行われた。



(担当：高島)

●第10回北陸観光サロン

日時：4月12日(月) 14:00～16:30

場所：金沢ニューグランドホテル

出席者：会場55名、オンライン61名

「観光業の高付加価値化～量から質の観光へ～」をテーマに、(一社)中央日本総合観光機構との合同セミナーを開催した。

冒頭、久和会長は挨拶の中で、「ウィズコロナ・ポストコロナ時代においても、観光は地域発展の切り札となる有力な産業。一方、観光産業の生産性はコロナ前においても必ずしも高くなく、更なる付加価値向上など生産性の向上が求められている。」との話があった。

また、国土交通省北陸信越運輸局観観光部長の昆一彦氏より「北陸が行きたい観光地、行ってみたい観光地となることを期待している。各地への往来が再開される時に備えて、観光資源の磨き上げや安心安全を含めた観光地としての魅力発信など、皆さまと力を合わ

せて取組んでいきたい。」とのご来賓の挨拶を頂きました。

第1部では、JTIC.SWISS山田代表より『持続可能な観光立国の実現に向けて世界的な観光地から学ぶべきこと』と題して基調講演があり、スイスを事例に「スイスの強さは「質」重視。本来価値・付加価値のアップ!地域、商品・サービスの徹底した質的向上でブランド化!そして、多様化する市場とお客様にコミットして行く!」、「戦略として、顧客維持・高付加価値化が重要。一度掴んだお客様は二度と手放さない。2割の上客(ロイヤルゲスト)を増やす。」、「マネジメントの基本は、顧客は誰か?を知ること」等の話があった。

次に、フランス政府対外貿易顧問委員会マニグリエ真矢副会長より『アグレッシブな「まもり」の観光』と題して基調講演があり、「フランス・パリは住んでいて世界一美しい街であると思っている。それは今もそうであるが、ルネサンス時代もナポレオン時代もルイ14世の時代もそう思っていた。そこに住んで生きてきた人たちが活き活きして、その街をずっと進化し続けたということで美しさが伝わって、今もパリが一番美しい街だと言えます。石川の皆さんにもそう思えるよう地元資源を使って良さを伝えてほしい。」との話があった。



第2部では、本日のテーマをもとに、(一社)中央日本総合観光機構荻野常務理事兼事務局長をモデレーターに、基調講演の2人の講師と金沢ホテル懇話会庄田会長、西日本旅客鉄道(株)前田執行役員金沢支社長によるパネルディスカッションが行われた。

庄田会長からは、「従来の売上の7割で成り立つ組織を目指す。滞在型とリピーター層に力を入れ、近場の周遊プランや文化体験型プランを提供していきたい。また、フロント業務へのDX化を進め、その人員をコンシェルジュ機能強化につなげたい。市民にとって観光は良いものと思ってもらえるようシビックプライドの醸成も必要。」、前田支社長からは、「量

から質の観光というテーマがあるが、鉄道事業としては、量も確保しながら質を上げていきたいというのが現状の考え。質の高いサービスを適正な価格で提供していきたい。人ならではのサービスを磨き上げること、ストーリー性を持たせられるかがリピーターの確保には大切。その手段として、観光型 Maas に取り組んでいきたい。」等の話があった。

(担当：狩野)

●2021年度第1回総合対策委員会女性部会

日時：4月12日(月) 11:30~12:30

出席者：9名(オンライン会議)

「北陸は女性が働きやすい地域」とのブランドを作る活動について、浅野部会長からの挨拶後、グループAは金沢工業大学の大砂氏、グループBは榊森八の中宮氏が最終報告を行った。

最終報告の内容を踏まえ、えるぼし認定企業の促進等に取り組むこと、また、取組内容を今年度の事業計画に織り込むことを説明した。

メンバーからは、女性活躍を推進していくためには、「女性だけでなく、男性や企業を巻き込んで実行していくことが必要」、「女性活躍の取組みについてPRしていくことが重要」等の意見が出された。



(担当：高田)

●2021年度第1回総合対策委員会

日時：4月14日(水) 12:00~14:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢

出席者：会場17名、オンライン3名

稲垣委員長は開会挨拶の中で、北陸の経済状況について「厳しい状況にある中、一部の業種で足踏みが見られるものの、緩やかに持ち直しつつある」こと、また、当会が1月に公表した第五次中期アクションプランの概要について述べられた。

委員会では、「2020年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、「2021年度事業計画(案)」、「2021年度政府に対する北陸経済界からの要望活動の進め方」について審議し、また、3月に「エネルギー基本計画の見直しに向けた意見」を公表したことを報告した。

委員からは、「企業誘致に関して、北陸地域から撤退した企業の撤退理由からアプローチする方法もあるのではないか」、「SDGsに関して取り組んでほしい」、「コロナ禍で顕在化した経済的格差への対応が必要」など多くの意見をいただいた。



(担当：小林義)

今後の行事予定

◆【実施】第350回常任理事会

日時：4月21日(水) 12:00~14:00

場所：金沢ニューグランドホテル

対象：副会長、常任理事に案内済

◆【実施】DX推進経営セミナー2021

日時：4月23日(金) 14:00~16:30

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢

(オンライン配信併催)

対象：全会員(事前申込)

◆【実施】2021年度政府予算等に対する要望検討ワーキング

日時：(第1回)5月13日(木) 10:00~11:30

(第2回)6月17日(木) 10:00~11:30

オンラインのみで実施

対象：ワーキングメンバーに案内済

◆【実施】北陸地域経済研究者シンポジウム

日時：5月21日(金) 14:00~16:30

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢

(オンライン配信併催)

対象：全会員(事前申込)

テーマ：「北陸の将来を考える～労働生産性の向上～」
(第五次中期アクションプランの3本柱の1つである「労働生産性の向上」に焦点をあてたシンポジウムです)

プログラム：

○第1部 基調講演 14:05~14:55

<演題>

「労働生産性の向上に取り組みませんか？」

—最近の北陸の労働生産性の状況—(仮題)



<講師>

富山大学経済学部教授 小柳津 英知 氏

○第2部 パネルディスカッション 15:05~16:25

<テーマ>

「北陸企業における労働生産性向上のあり方」(仮題)

<パネリスト>

富山大学経済学部教授 小柳津 英知 氏

金沢大学人間社会学域教授・先端観光科学

研究センター長 学長補佐(社会共創担当)

佐無田 光 氏

福井県立大学地域経済研究所客員研究員

中里 弘穂氏

<モデレーター>

北陸経済研究所 調査研究部部長 藤沢 和弘 氏

なお、申込方法については、後日ご案内いたします。

(担当：小林義、岩田)

お知らせ

■「実務者向けデジタル人材育成講座」受講者募集のお知らせ

【チラシ URL】

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/bac21bcaaa74f9b7f68c2130a740d39c.pdf>

北陸経済連合会と一般財団法人北陸産業活性化センターは、昨年10月に開講し好評を得た社会人向けオンライン講座を今年も開講し、下記のとおり受講者募集を開始しましたのでお知らせします。

データサイエンスの全体像を知ることが目的の入門者向け講座で、事前知識は不要で日常的にPCを使っている方なら参加可能です。

【主催】北陸経済連合会、

(一財)北陸産業活性化センター

【講師】富山大学副学長・都市デザイン学部教授

中川 大 氏

【形態】web会議ツール Zoom を使用した遠隔講座

【日程】5月26日(水)~6月30日(水)の

毎週水曜日(全6回)

【時間】(講義)14:30~15:50(演習)16:00~17:20

【受講料(会員※)】

講義のみ受講 30,000円(税込)、

演習 4,000円/回(税込)、

全講義+全演習受講 50,000円(税込)

※北陸経済連合会・(一財)北陸産業活性化センターの会員

【募集締切】5月18日(火)〆切

【申込先】下記 URL の申込ページより申込んでください。

<https://ds-hokuriku.com/entry.html>

【募集定員】80名(先着順)

【問合せ先】下記メールアドレスにお問合せください。

(講座事務局) info@ds-hokuriku.com

【参考】昨年度に開催した「実戦・データサイエンス概論 実務者向けコース」受講者アンケート結果

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/ac66ed678547b68c3faa2e696870de73.pdf>

貴社の人材育成部門、DX推進部門の方へもご周知頂き、多数の受講申込をお待ちしております。

(担当：坂井)

■東北経済連合会からのお知らせ

「東北ハウス」コンテンツ先行公開

「東北ハウス」は、東日本大震災の発生から10年の節目に、「世界から寄せられた支援に対する感謝の気持ち」を伝え、「復興に向けて着実に歩んでいる元気で安心な東北の姿」、「日本の他地域では味わえない観光地“東北・新潟”の魅力」を世界中の皆さんに体験していただく、期間限定の情報発信拠点です。

今年の夏、東京秋葉原に展示施設をオープンしますが、それに先立ち Web ページ上にコンテンツの先行公開が始まりました。「東北ハウス」を、一足早く、Web でご覧ください。

<https://www.tohokuhouse.jp/pre-release/>

※北経連 HP 上のバナーからもアクセスできます。

「東北ハウス」の概要

・事業期間：7月22日(木)~8月7日(土)

・開催場所：JR秋葉原駅前 アキバ・スクエア

(アキバ・スクエアの詳細はHPでご確認下さい)

(担当：小山)

■「Japan Innovation Bridge(略称：J-Bridge)のご案内

経済産業省投資促進課は、2月18日(木)に、海外のスタートアップやベンチャーキャピタル等と日本企業との協業等を図るためのオープンイノベーションプラットフォーム「Japan Innovation Bridge(略称：J-Bridge)」を日本貿易振興機構(JETRO)に創設いたしましたので、ご案内させていただきます。

★J-Bridge の概要はこちらから

<https://www.jetro.go.jp/jdxportal/j-bridge.html>

【問い合わせ先】

※施策全般の問い合わせ

経済産業省投資促進課 三原、村山、東

TEL：03-3501-1662

※本登録移行や支援メニュー詳細の問い合わせ

日本貿易促進機構 DX 推進チーム

TEL：03-3582-5644

(担当：杉山、登)

以上